

ヘルパーステーション

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
昨年の12月、新しい年を迎える準備として、ヘルパーステーションでも事務所内の大掃除を行いました。
窓のブラインドやロッカーの上の掃除、書類の整理などを行い、事務所も気分もスッキリすることができました。
新しい気持ちで新年を迎え、より一層皆様のお役に立てるヘルパーステーションを目指していきたいと思ひます。



居宅支援事業所・地域包括支援センター



2月3日は「節分の日」です

「節分」は「せち分かれ」ともいひ、季節の変わり目、すなわち立春・立夏・立秋・立冬の前日をさす言葉です。特に現在ひ立春の前日(2月3日)を節分といひ豆をまいて悪疫退散や招福の行事が行われます。

今回は節分の日には食べるものについてお話しします

豆・イワシ・そば・恵方巻 等がこれにあたります。

豆: 炒った豆を【福豆(ふくまめ)】と呼びます。自分の年齢と同じ数、または年齢よりひとつ多く食べます。ひとつ多く食べるのは数え年での年齢です。一つ多めに食べる＝来年も健康で幸せな一年が訪れますように、願ひを込めます。

イワシ: 豆は幸福を呼び込み、イワシは反対に厄を追い払う効果があると信じられています。これは、災厄の象徴とされる鬼や悪霊が強い臭いで逃げて行くと言われてひいます。【イワシの頭】を玄関に飾るのはこのためです。

そば: 古来より日本では元旦ではなく、この立春こそが1年の始まりであるとされています。その為新年の前日に食べるそばを【年越しそば】といひます。

年越しそばに込められている意味は...

- 切れやすいそばを食べて、悪いものを断ち切る
- 細いそばを長生きの象徴として食べます。



恵方巻: 節分の日晩御飯として定着感がありますが、実はこれ節分とは何の関係ない食べ物としての説もあります。他にもこの恵方巻には多くの説があります。現在では節分といへば恵方巻がより浸透してひいます。

節分に食べる食べ物には【厄除け】【福を招く】の二つの意味が込められているのがお分かりいただけたと思ひます。

その他

ケアタウン成増に対するご意見、ご要望、苦情などありましたらお気軽にお声をかけてください。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

次号は4月上旬発行予定です。お楽しみにしてて下さい。

▶ <http://misono-fukushikai.or.jp>



たんぽぽ通信

平成31年1月発行 第45号

社会福祉法人みその福祉会・ケアタウン成増



新春のご挨拶

社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

皆様明けましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また本年が皆様にとってよい年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年の12月に「今年の漢字」を京都・清水寺の森 清範貫主が国宝の「清水の舞台」にて「災」と特大の和紙に揮毫されました。

「災」が選ばれた理由を昨年起きた象徴的な出来事により考えてみたいと思ひます。1つ目は北海道胆振東部、大阪府北部、島根県西部における地震や西日本豪雨、台風21号、台風24号の直撃、記録的な猛暑などの自然「災」害が挙げられます。2つ目は多くの「災」害から国民が自助共助の大切さを認識し、それぞれの防「災」意識が高まったことが挙げられます。特に山口県で2歳児を救出された尾畠 春夫さんの活躍により全国民がどこかあたたかい気持ちになったことが思い出されます。3つ目は、スポーツ界のパワハラ問題、コインチェック社の仮想通貨流出、東京医大を始めとする不正入試問題などの大きな意味での人「災」が挙げられます。

今年の干支は亥になります。亥は十二支の中で1番最後の干支とされています。このことから次のステージに向けた最後の準備といった意味があるようです。今年から新たな元号が始まります。私も福祉分野に身を置く者として、すべての方々が幸せであると感じられるような、まさしくこれから迎える「地域共生社会」実現のために、微力ながら職員共々頑張る所存です。

ご関係の皆様にはこれからもご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム・ショートステイ

秋のバスハイク



11月6日に浅草へバスハイクへ行ってきました。

水上バスで東京湾をクルージングし、昼食は浅草の老舗天婦羅屋「葵丸進」さんで会席料理を頂きました。サクサクの天婦羅と食べきれない程の品数のお料理をお腹いっぱいになるまで堪能し皆さん大満足しておりました。あいにくの雨で浅草寺のお参りとお買い物は出来ませんでしたが…今回のバスハイクはご家族の皆様が全員参加(ご利用者5名、ご家族様6名)してくださいました!

親子水入らずの時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか。ご利用者とご家族様の楽しそうな表情を拝見し普段見られないような表情をしている方もおり、職員もうれしかったです。

来年のバスハイクもお楽しみにしてくださいね! 来年はどこでしょうか!

毎月の喫茶



特養では毎月、1階にて自分の好きな飲み物を選び、毎月異なるお菓子を食するというイベントがあります。ときにはデパートの和菓子や美味しいケーキといった季節を味わっていただけるように四季のお菓子をご提供しております。普段と異なった場所でゆっくりとお話をしながら美味しいお菓子を召し上がりご利用者も大満足! お話も弾みますね!



デイサービスセンター

11月30日 芋煮会



久しぶりに料理活動を行いました。本日は「いも煮」です! さすが先輩主婦の皆さん、てきぱきと材料を切っています。50人分を作る為に沢山の水を入れた鍋はなかなか沸かず……。待っている間は昔の話に花が咲いてるように賑やかでした。最後に入れた一つまみのお塩で更に旨味が増し、味付けも完璧! 皆様、残さず召し上がって下さいました。

12月17日 ゆず狩り



12月22日は冬至。デイサービスでもゆず湯を行います。お風呂に入れるゆずはデイサービスご利用者に提供して頂いてます。歩行訓練も兼ねてセンターから皆でワイワイ歩かれました。お庭に大きなゆずの木。たくさんのゆずが実ってます。「あの形が、色は、大きいの」などと賑やかにゆず狩りと香りを楽しめました。

12月19日 もちつき



餅つきをしている様子を皆さんに見えるよう、臼を丸く囲むように着席。準備万端の中、蒸したてのもち米が登場! 男性職員二人で体重をかけて杵でグイグイともち米を潰していると「それくらいいいよ」とご利用者の皆さんから声がかかり、それではつき始めようとした時、再びご利用者の皆さんから「合いの手をする人はこっち側にきて、もっと近くにいないとだめよ!」と口々にアドバイスしてくださいました。職員が代わるがわる餅をつき、最後の仕上げはご利用者の皆さんに行って頂きました。短い時間でしたが、楽しい餅つきになりました。